

Leaf @ 同窓会

No.10

編集・発行

島根大学教育学部同窓会（本部事務室）

松江市西川津町1060 島根大学教育学部内（〒690-8504）

Eメール e-dousoukai@edu.shimane-u.ac.jp

http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html

電話(新設) 0852-32-6297 (FAXも同)

教員の養成から研修までを担う

島根大学教育学部長(同窓会副会長)

加藤 寿朗

新学部長紹介



■プロフィール

島根県に生まれる。
島根県公立小学校教諭。
広島大学附属小学校教諭、
愛媛大学助教授。
2003年4月より島根大学教育
学部へ、現在に至る。
専門は社会科教育、生活科教育。

本年度より、教育学部長・教育学研究科長を務めています加藤寿朗（かとうとしあき）と申します。教育学部同窓会の皆様におかれましては、平素より学部・研究科の教育・研究活動、ならびに就職支援活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて本学部は、これまで取り組んできた教員養成特化型学部としてのカリキュラムの利点を生かし、平成29年度に「これからの教育を創造していく教師」を養成する学部としてリニューアルしました。また、免許更新講習や4週間の教員研修など、現職教員を対象とした研修機会の提供を積極的に行ってきました。平成28年度に新設した教職大学院では、学部新卒学生と島根・鳥取両県から派遣された現職教員が共に学修を行っています。

本学部・大学院では、大学での教員養成から現職教員の研修までの連続した教育・研修システムを構築していきたいと考えています。同窓会の皆様には、益々のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

.....同窓会のあり方、意見活発に.....

同窓会役員総会は、6月9日（土）、島根大学教育学部教職大学院カンファレンスホールで開催。有馬毅一郎会長の挨拶、出席者自己紹介の後、道前誠造隠岐島前支部長が議長に選出され議事が進められた。

主な議題は、事業報告、決算報告、役員選出、平成三十年度の事業計画、予算（案）で、審議の後、承認された。

審議及び話題は、会員減少の中、同窓会費の用途についての質疑が中心であった。

会費については、適切な処理に努力することと毎号の会誌や「リーフ」によって常時説明を掲載していることが事務方から回答された。

意見交換、情報交換の後、学生による委託活動の発表があり、全日程を終えた。



役員
総会
開か
れる

・同窓会員からの「今」の報告です・

学生たちは今

初等教育開発専攻3年
重田 あい・内藤 夏奈子



島根大学教育学部に入学後3年が経過しました。大学生活では学校の中だけでなく地域でも教師になるための多くの学習経験を重ねさせていただいています。中でも1000時間体験学修のプログラムの1つである中山間地域教育実践研究は地元の小規模学校での教育を間近で観ることができ、複式学級での授業や地域の方・児童との交流の場を持つなどとても有意義なものでした。児童を学校全体・地域全体で育てようとする雰囲気はとても素敵でした。地域と学校が共に手を取りながら進めていくそんな心温まる教育を進められる教師になりたいです。

地域と学校が共に手を取りながら進めていくそんな心温まる教育を進められる教師になりたいです。



広島支部は今

島根大学同窓会広島支部
広島文教女子大学 副学長
岡 利道 (S55卒)



島根大学広島同窓会の中に教育学部も入らせていただいております。その学部の同窓生の方々とともに活動を続けております。そこでの事業として隔年で行われている文化講演会が、9月8日(土)、広島市中区の島根大学広島オフィスにて開催され、この度は島根大学教育学部教授・藤井浩基先生(音楽科教育、音楽学)にお越し願ひ、講演をしていただきました。演題は「島根における音楽教育の水脈」で、「あー、そうだったのか」と皆が納得する場面が続出。質疑応答も活発で、1時間30分があっという間に過ぎてしまいました。あとの懇親会にも出ていただき、藤井先生を囲んで、話の花が咲きました。藤井先生、本当にありがとうございました。

最後に、広島県にお住まいの卒業生の皆様、これからこのような会を益々盛んにしていきますので、多数ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。



学校では今

松江市立揖屋小学校 校長
井原 孝夫 (S56卒)



朝早くから夜遅くまで、休む間もなく子どもの指導をしている先生。家で一生懸命に教材準備をしたり、子どものことを案じてくれている先生。誰に言われたからではなく、子どもたちのために嬉々として働く先生方に感心したり、感謝したりする毎日です。

働き方改革が叫ばれる昨今ですが、教育の質の担保無しに仕事を減らすことを望む者は誰もいないでしょう。子どもたちの幸せのための働き方改革を志向すべきではないでしょうか。

本校の職員室では、この話題をみんなで賑やかに話しています。そして、時々肩の力を抜きながら、これからもみんなで一緒に頑張っていこうと話しています。



教育学部教員は今

島根大学学術研究院教授 教育学系(初等教育開発専攻・体育科担当)
廣兼 志保 (S64卒)



「教育実践の新たな試み」

近年、学習に向かう体づくりが注目されています。私は拇指の対向の動きが未発達のために不合理な鉛筆や箸の持ち方をしたりボールを受けられなかったりする学習者に着目し、体の構造を理解し遊び感覚を取り入れつつ合理的な動きを体感できる学習プログラムの構想と実践に、今年度初めて取り組みました。授業では拇指対立筋の構造と動きの仕組みや発達段階などを学んだ後、合理的な動きを促すエクササイズを行いました。その結果、57人中50人の動きに向上がみられました。今後も試行錯誤を重ね学習プログラムの改善に取り組みたいです。



地域では今

飯南町教育委員会 教育長
矢飼 育 (S55卒)



昨年度から飯南町では、「子ども未来会議」を開いています。「子どもの未来を語ることは、町の未来を語ることを基本概念(コンセプト)として、町挙げての会議にしようとしています。

昨年度は、東京学芸大学名誉教授児島邦宏氏に来町いただき、「子どもたちに本物の力をつける確かな学びの循環について～地域を元気にする教育の方略」と題した講演後、高校生を交えて情報交換をしました。どうすれば子どもに本当の力をつけることができるのか。育てたい子ども像を探りながら、体験させたいこと・身につけさせたいことの話合いをしました。

学校の教育活動を通して、地域に活力を与え、地域を担う世代を育てる。どこへ行っても生きていける力をつける。また、地域全体で学校を支援し、次代を担う子育てを通して地域の活性化と再生を図ることが目的です。地方創生の鍵は、教育です。



同窓会支部は今

出雲支部の活動

夏井いつきさんを招いて俳句バトル

出雲支部 理事 出雲市立遙堤小学校 校長
立花 久紀 (H56卒)



出雲支部では、8月4日にバルメイトホールで支部会を行いました。TBS系全国ネット『プレバト!!』の俳句コーナーに出演してられる夏井いつきさんをお招きして、『夏井いつき俳句ライブ』と題して実施しました。夏井さんは中学校教員の経験がありなので、教育学部同窓会が主催した句会ライブということで、俳句を通して児童生徒の教育にどのように関わっていくのかをとても分かりやすく話していただきました。後半は、いつきさんのつれあいさんや出雲の俳句仲間の皆さんと一緒に『俳句のすそ野を拡げる』ために、参加者全員が俳句作りを挑戦しました。素人でも作れるコツを教えていただき、全員が俳句を作りました。最後に、全員が作った作品の中から優秀作品を7点選ばれ、テレビのような辛口ではなく、優しく評価、解説していただきました。楽しく充実したあっという間の2時間でした。有馬同窓会長をはじめ、本部・松江市からも多数お出掛けいただき、100人を超える会となりました。ありがとうございました。



出雲支部は、会員の教員免許更新の支援などの活動を行っていますが、本年は「俳句ライブ」の主催という異例の企画をしました。同窓会本部も賛同し、共催者として、有馬会長、黒田・白石副会長、恩田会誌編集長等が参加しました。また、出雲支部会員 OB の強力な支援があって盛会になりましたこともお伝えします。夏井いつきさんが選んだ会員の優秀作品7点から、最後に会場の挙手により、トップに選ばれた句が、「炎天下 集まる笑顔と 土のう袋」でした。(事務局 記)



平成30年

10月7日(日)

第12回 島根大学教育学部

ホームカミングデーにおでかけください!

年に1回、母校で充実した時間をすごしませんか。
 今年も学部と同窓会の共催で、右記の内容で計画しました。(詳細は、別紙案内状参照) (全学企画はありません。「島大会員」の企画として別途あります。)
 ホームカミングデー終了後、懇親交流会を行います。
 懇親交流会のみの参加も大歓迎です。
 皆様の参加をお待ちしています。

日時:平成30年10月7日(日) 15:30~18:00

場所:島根大学教育学部 多目的ホール

テーマ:「地域を元気に! 人をつなぎ、地域をつなぐことから生まれるローカルイノベーション」

懇親交流会もおすすりめです。

●18:30から、「炉端かば 松江学園通り店」(学園2-25-28、0852-31-8181)

●会費 学生1,500円 一般2,500円 申し込み、問い合わせは事務局まで。

同窓会は、入学生(準会員)、卒業生・修了生(新入生会員)を歓迎し、応援します

「教員を
めざす」を
応援



教育学部が企画する「面接道場」とか「教師力バ
ワーアップセミナー」などに、経験豊富な先輩同
窓会員が指導に加わり、就活の応援となっています。
 その他、様々な場所、場面で、学生の皆さんの体
験活動の支援を行っています。

広報誌発行
会員にお届け



「同窓会誌」(年1回)は、69号を数え、全国でも希有
な歴史と伝統を誇る機関誌です。「Leaf@同窓会」(年
2回)の発行と共に、在学生(準会員)卒業・修了生(正
会員)にお届けしています。
 ホームページ等でも、情報発信に努めています。

同窓会支部
同期生会
などへ助成

卒業・修了後は、県内や県
外にある20余の「同窓会支
部」の一員として所属し、支部
活動に参加いただくか、個人
会員として、つながりをもつこ
とができます。
 会員として同期生会などを聞くと
きは、参加数に応じた助成を行って
います。(5,000円~2万円)

同窓会は、こんな 活動をしています

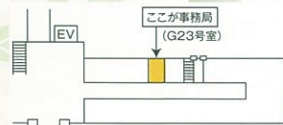
がんばる
学生さんに
「激励金」



研究・部活動・社会的活動などで、学部から推せ
られた学生さんに「激励金」を差上げて
います。

事務局で
カフェ
毎月開催

原則毎月第4火曜日午後1時半~4時、事務局で
「ほっと一息カフェ」をOPENしています。
 経験豊富な先輩も待機しています。楽しい雑談を。



「ホーム
カミングデー」
を開催



「ホームカミングデー」は、年1回、卒業・修了生に、「母校を
訪問しませんか」とお誘いし、在学生や卒業・修了生の教育
活動や社会的活動を発表したり、情報交換する場となってい
ます。近年は、終了後に、懇親交流会も開いています。

母校教員
を応援

母校教育学部の先生方の研
究や教育活動を応援し、毎年1
名の先生に「教育振興奨励賞」を差
上げています。

「同窓会名簿」
を発行



2016年11月に新名簿を発行しました。次
は、2020年に改訂します。
 注文制で、3,500円、希望する会員に限定
で提供しています。

同窓会事務局本部

事務局(室)は、学部棟G23号室です。毎週火・金曜日
の午後は事務局員が駐在。原則毎月第4火曜日は「カ
フェ」の日です。(掲示等ご確認ください)

事務局のメール、電話(留守電、FAX)、ホームページ
をご利用下さい。在学生も卒業・修了生も気楽に利
用、お立ち寄りください。

卒業・修了後、「正会員」として「同窓会」のつながりを続けましょう。(入会費は別途です)

(「ご入会歓迎特別号」(2018年1月刊)で「同窓会」の説明・案内をした記事を縮小・転載しました)

同窓会事務局からのお願い・連絡

- 同窓会費(年額2,000円)を納入してください。
 - ・各支部を通じて納入してください。
 - ・支部に所属されていない方は個人会員としてご加入ください。個人納入には郵便振替をご利用ください。

口座番号:01440-5-6975 加入者名:島根大学教育学部同窓会

・終身会員(原則60歳以降)は一時金20,000円です。

- 「同窓会」開催の際は祝い金を送ります。お知らせください。(支部交流会、同期生会、専攻・研究室別など)

・10人まで=5,000円 25人まで=7,000円 40人まで=10,000円 41人以上=20,000円

- 事務局に固定電話(FAX兼)が設置されています。 TEL.0852-32-6297